参考資料2

適正利用の課題

- 世界自然遺産地域のモニタリング項目No.20 は、検討会議構成員や関連団体から、エコツーリズム戦略に則り特に力を入れて取り組んでいることや、新たに始めた取組、利用者･参加者の数や意識、行動について、気付いた点や気になる点、事業、ツアーで使用しているフィールドや地域の自然環境の状況などを収集している。
- 最近の回答から、温暖化によるフィールドの変化、増加する外国人旅行者への対応・マナー啓発、ニーズの多様化への対応、情報発信、ヒグマの人慣れ・軋轢の増加などの意見が寄せられている。

20260310　令和７年度　第２回 適正利用・エコツーリズム検討会議

資料 3-2

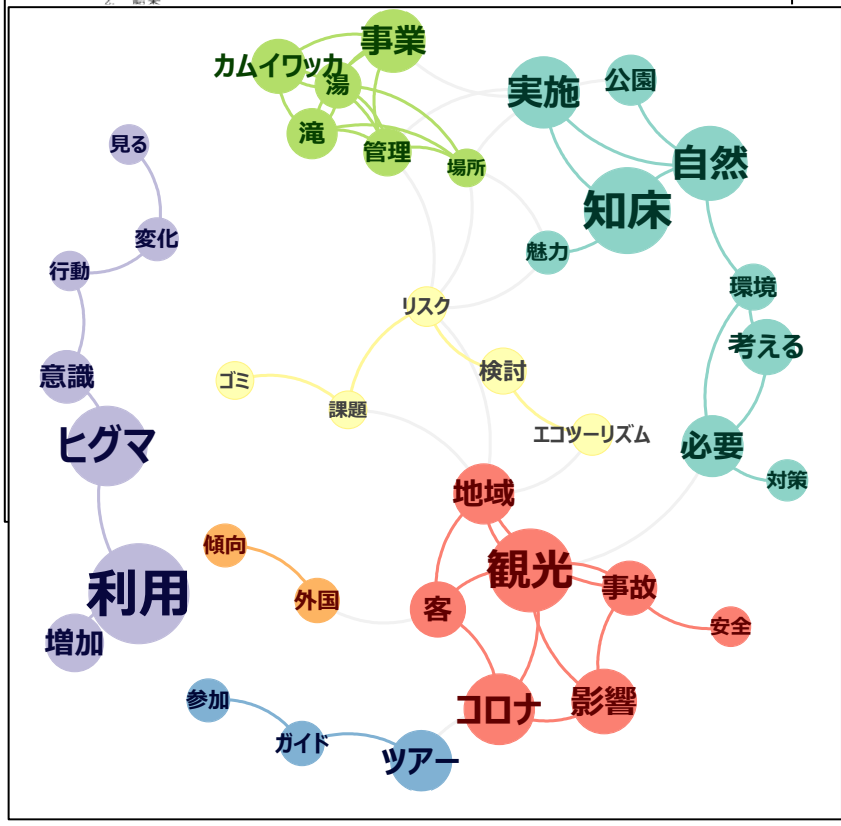
モニタリング項目 No.20（適正な利用・エコツーリズムの推進）の実施結果について

1.　対象団体

エコツーリズム検討会議の構成員や提案事業に取り組む15団体を対象に、この資料の巻末に掲載した調査シートの内容について 2025 年度に関する聞き取り調査を行い、13 団体から回答を得た。

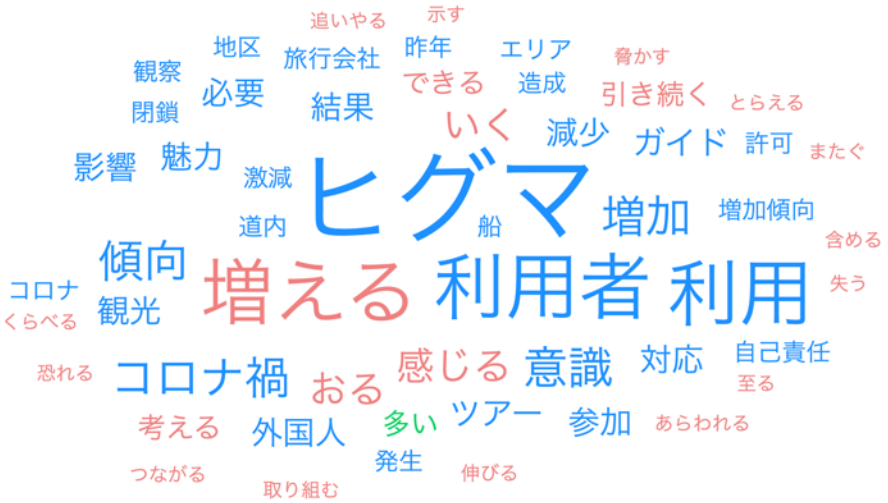
No.	団体名	No.	団体名
1	環境省	9	知床小型観光船観光船協議会
2	林野庁	10	知床羅臼観光船協議会
3	斜里町役場	11	知床ウトロ海域環境保全協議会
4	羅臼町役場	12	斜里山岳会
5	知床斜里町観光協会	13	羅臼山岳会
6	知床羅臼町観光協会	14	知床財団
7	知床ガイド協議会	15	オホーツク総合振興局保健環境部 環境生活課 知床分室
8	知床羅臼ガイド協議会		

2.　結果

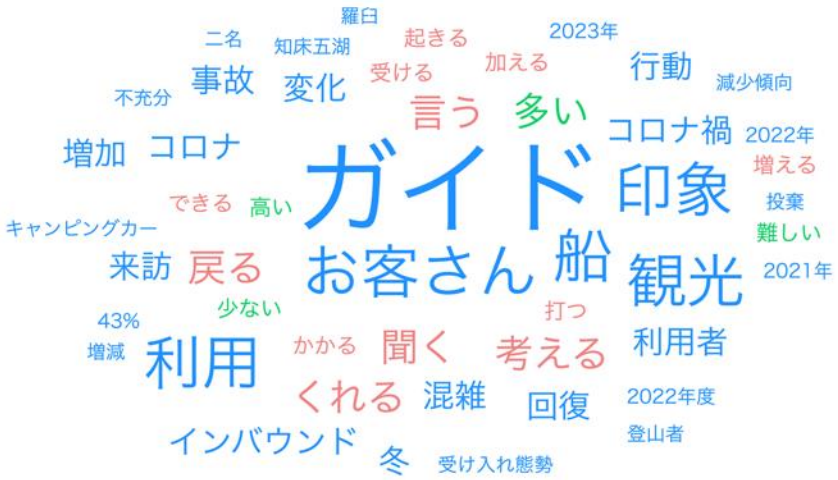


利用者の行動や意識

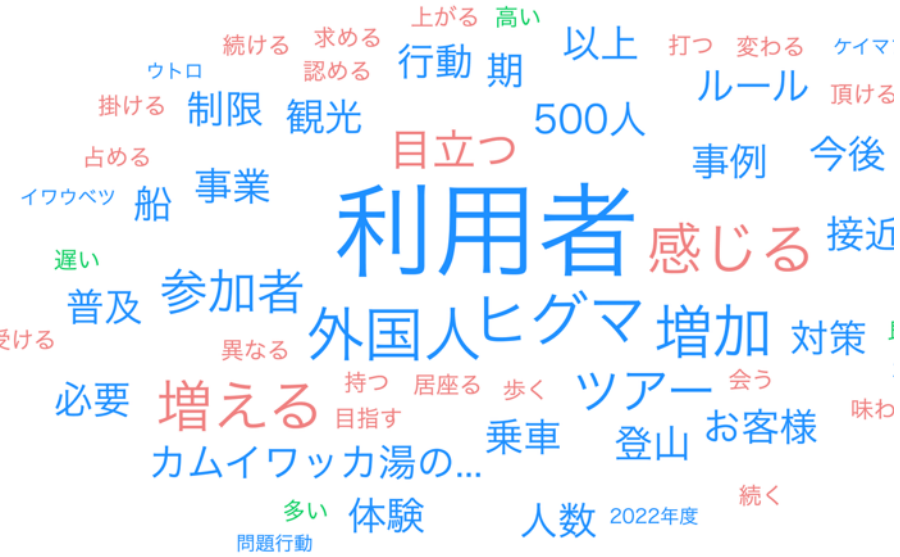
2021



2022-2023



2024

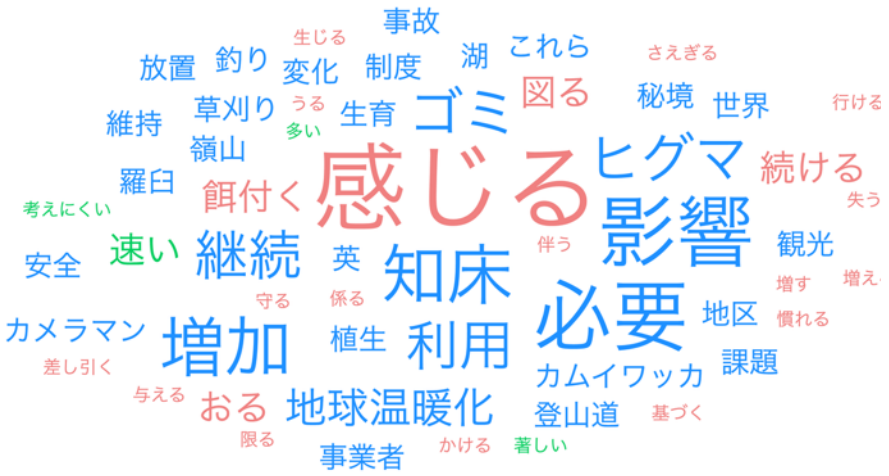


2025

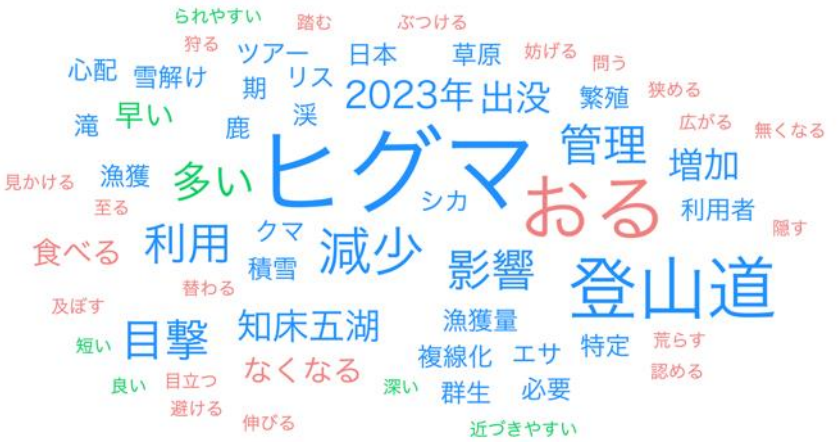
ユーザーローカル テキストマイニングツール（ https://textmining.userlocal.jp/ ）による分析

フィールドや周辺環境

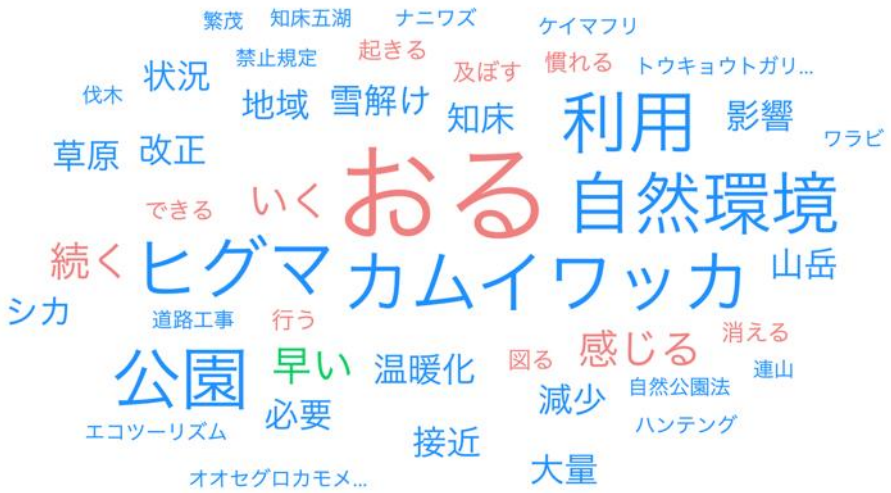
2021



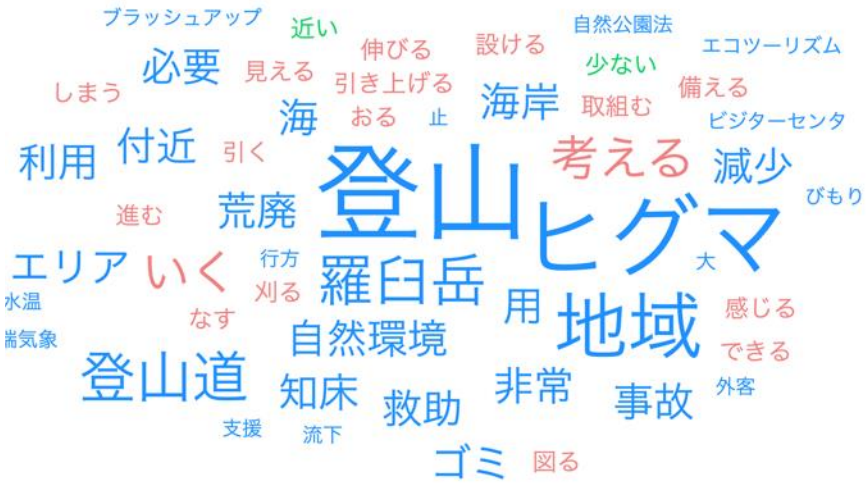
2022-2023



2024



2025



ユーザーローカル テキストマイニングツール（ https://textmining.userlocal.jp/ ）による分析